バックボーンスイッチの特長

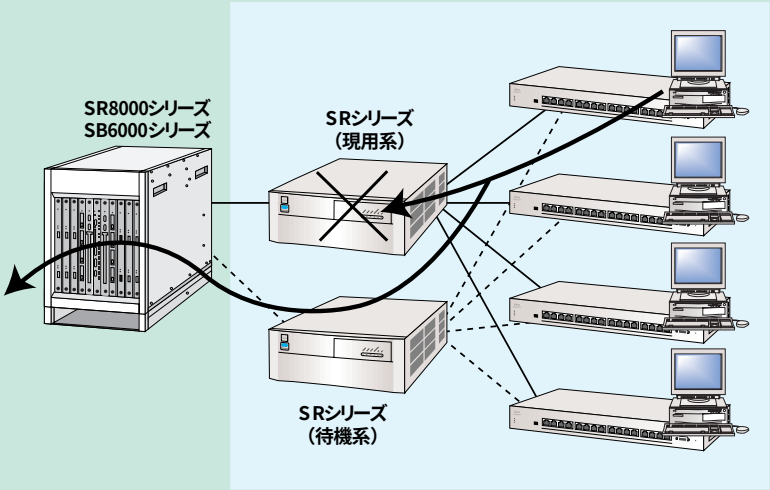
1.信頼性を確保（ホットスタンバイ機能）

対応機種 SR8800 SR5400

富士通のバックボーンLANシステムは、ホスト業務などの信頼性が求められるLANシステムに最適です。
SRシリーズでは、2台を組み合わせることにより、ホットスタンバイ機能を利用できます。これは、現用系／待機系の2台を使用するもので、現用系の装置障害時に、待機系の装置に自動的に高速切替を行います。
この切替時間は、通常のRIP方式を使用した場合に比べて大幅に速く、わずか数秒から十数秒で通信を再開可能です。（通常のRIP方式を使用した場合は、通信の再開までに数分かかります）
また、このホットスタンバイ機能は、ゲートウェイをひとつしか設定できないパソコンなどの装置でも障害時に設定の変更を行う必要がありません。ルータの切替を意識することなくご利用いただけます。

高信頼なシステムを実現するホットスタンバイ機能

- 中継幹線の完全二重化が可能です。
- 富士通オリジナル方式により、わずか数秒から十数秒の高速切替が可能です。

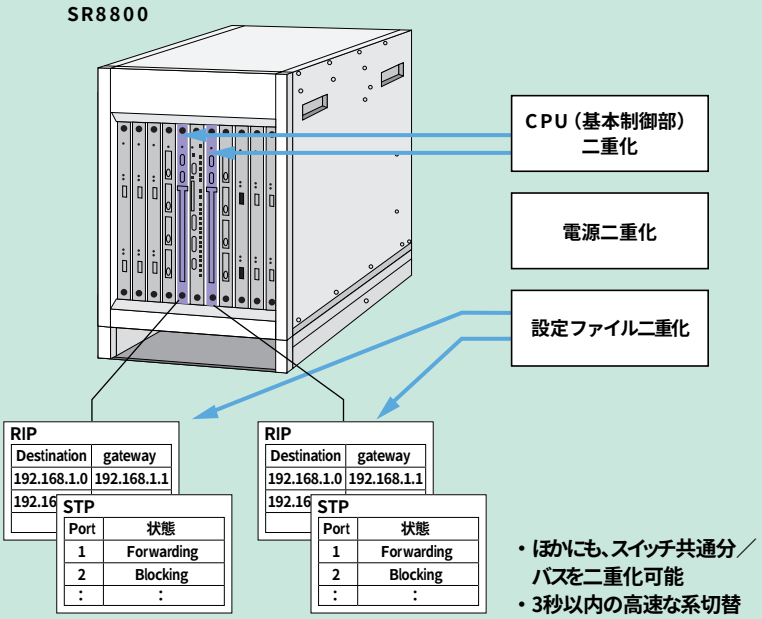


2.業界最高水準の高信頼機能

対応機種 SR8800

SR8800は、電源／CPU／スイッチ共通部／バス／プログラム格納領域／設定ファイル格納領域すべてを二重化することができます。これらの内部コンポーネントに障害が発生した場合でも、装置内の系切替を高速に実行し、3秒以内にエンドエンド通信を回復することができます。
この機能の応用により、ファームウエアのバージョンアップ時も事実上ノンストップで運用することができます。
また、マルチリンクイーサ機能、伝送路障害監視機能により、伝送路やボード／ポート単位のリセット、切り離しが可能であり、障害を局所化して運用を継続することができます。
また、ネットワーク管理アプリケーションNetEyemanager／SHにより、二重化した電源とCPUの障害および切替の状況や、マルチリンクイーサによる伝送状況をヴィジュアルに監視することができます。
もちろん、全てのユニット（PIUを除く）について活性挿抜／動的定義変更（全項目）が可能です。
さらに、長寿命ファンの採用、ファンの活性交換、ファンの温度状態監視機能、異常高温時の自動電源遮断機能により、熱対策も万全です。

SR8800の二重化機能（3秒以内の高速切替可能）



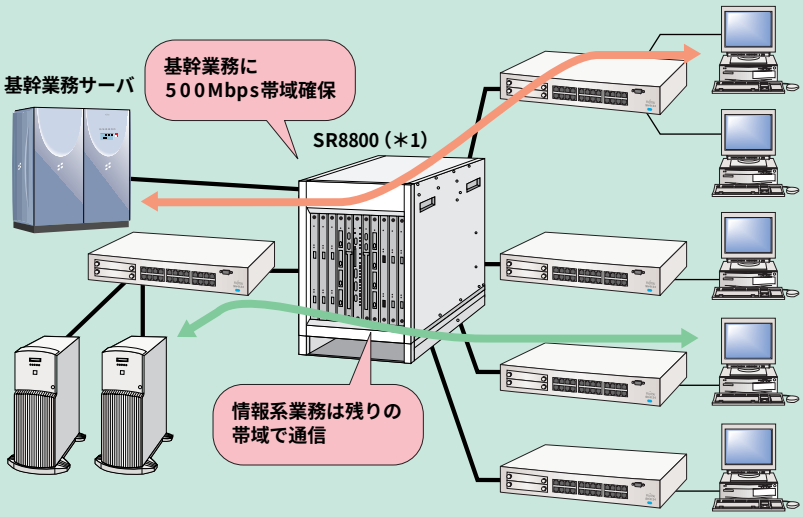
- ほかにも、スイッチ共通分／バスを二重化可能
- 3秒以内の高速な系切替

のマークは富士通製品ならではの機能です。

3.充実したQoS（Quality of Service）機能

対応機種 SR8800

SR8800では、帯域保証／帯域制限／優先制御のすべての機能をサポートし、充実したQoS機能を提供します。SR8800のQoS制御は、対象条件としてIPアドレス（宛先／送信元）、タグVLAN優先度、プロトコルタイプ、アプリケーション、TCP／UDPポート番号、宛先／送信元を任意に組み合わせ、1000個まで定義できます。もちろんQoS制御による性能劣化はありません。
また、ギガビットイーサ上でも、最小50Kbps単位の帯域指定が可能であり、きめ細かいサービスを提供します。



■帯域保証単位

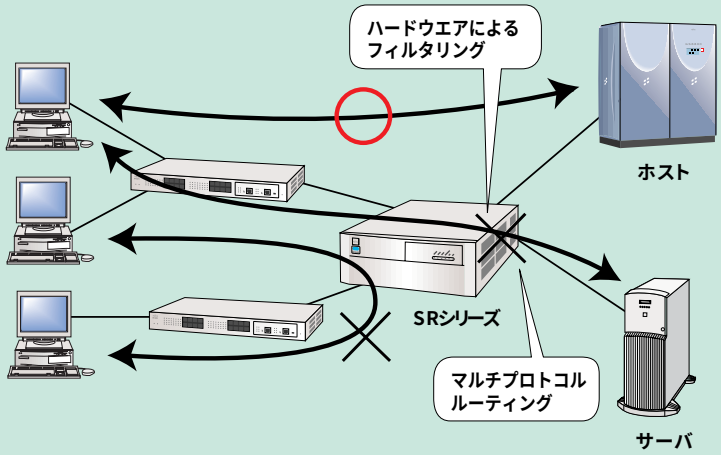
- プロトコル（IP、IPX、Apple、FNAなど）
- TCPポート番号（Web、ftp、telnetなど）
- IPアドレスなど

＊1　SR5400の場合、帯域指定は不可能だが、優先制御を行うことは可能。

4.豊富なフィルタリング、ルーティング機能

対応機種 SR8800 SR5400

SRシリーズは、ハードウェアレベルでIPルーティングを実現するレイヤ3スイッチです。また、ソフトウェアルーティングにより、IPX、Appletalk、FNA（SR5400のみ）といったマルチプロトコルにも対応し、ルータと同レベルのサポートを行っています。
また、各種フィルタリングなどの機能もハードウェア化しているため、一般的なレイヤ3スイッチに比べ、この機能を使用した場合でも性能の低下を招くことなく利用可能です。
ルーティングプロトコルもRIPに加え、RIP2、OSPFをサポートします。さらにオプションでAppleTalkルーティングも可能です。また、SR5400ではFNAルーティングもサポートします。
また、SRシリーズでは、プロトコル／ポート／タグの各種VLANを設定することで、マルチキャストパケット（パソコンから自動送信されるパケット。VLAN内の全ノードに定期的に送信）の転送範囲を限定したり、IPマルチキャストルーティング機能（SR8800のみ）を使用することで、近年、対応アプリケーションが増加しているマルチメディア通信のトラフィックを集約して伝送することが可能であり、バックボーンのトラフィック負荷を効果的に軽減することができます。
さらに、フィルタリングにより不要なパケットを廃棄してネットワークの負荷を軽減します。



■フィルタリング単位

- 出力ポート（SR8800のみ）、入力ポート
- 送信元／先MACアドレス、送信元／先IPアドレス
- プロトコル種別（Type値、LSAPによる指定も可）、IPプロトコル（TCP、UDP、ICMP）
- TCP／UDPのポート番号

■ルーティング機能

- IP、IPX、AppleTalk、FNAルーティング（FNAルーティングはSR5400のみ）
- OSPF、RIP、RIP2、OSPF-RIP変換
- IPマルチキャストルーティング（SR8800のみ）

のマークは富士通製品ならではの機能です。